



青柳小学校だより

令和7年度-2号

仲よく やりぬく たくましい子

令和7年(2025年) 4月30日発行 文責 校長 越智 弘子



令和7年度 児童会スローガン 笑い合い 行くのが楽しみ 青柳小

令和7年度が始まり、1か月が経ちました。各学級で、新担任と共に新たな気持ちで学校生活を送っています。全校集会では、**あいさつ** **えがお** **けじめ** **いっしょうけんめい** について、話をしました。

人と会ったら、「おはようございます。」「こんにちは。」と、声をかけることで、相手との関わりを深めるきっかけになります。さらに、笑顔を交わすと、相手も自分も良い気持ちになります。あいさつや笑顔は、人と人をつないで良い関係を築くために必要なものです。また、学校は学習をする場所であることから、けじめをつけて過ごし、勉強や運動、行事活動に一生懸命に取り組んで、どんどん力を伸ばしてほしいと願っています。

今年度は、子どもたちが主体となる学校運営を意識し、各学年の代表者による代表委員会を持つことになりました。4月早々に、1年生から6年生までが、どんな学校にしたいのかを考えて、それぞれの意見を取り入れて、児童会テーマを決めました。保護者の皆様、地域の皆様のご協力を得ながら、教職員が一丸となって、誰もが学校に来ることが楽しみに思える学校づくりに励みたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

びわ湖フローティングスクール「うみのこ」学習 4/21,22

5年生は、「うみのこ」学習を行いました。今年度第1回航海ということで、出港式には、県教育長、市教育長、報道機関の方も来られました。天候も良く、湖上から沖の白石、多景島、沖島を眺めることができました。びわ湖に関わる食文化や水の透視度学習など、他校の仲間と協力し、貴重な体験学習ができました。



5月の行事予定

※都合により変更する場合があります。

- 1日(木) 地域の方との除草作業 13:30~15:00
- 2日(金) 代表委員会
- 7日(水) 市教育研究会のため13:15 下校
- 8日(木) 全校集会 検尿 2次
- 9日(金) クラブ活動(4~6年)
- 10日(土) 1年保護者交流会9:30 全学年学習参観(5校時)・学級懇談会 ※弁当持参 14:10 下校
- 12日(月) 振替休業日
- 13日(火) 読み聞かせ(全学年) 内科健診(3年・5年)
- 14日(水) 体カテスト(1~3年)
- 15日(木) 体カテスト(4~6年) 民生委員・児童委員との懇談会 安全点検
- 16日(金) 委員会活動(5,6年) PTA正副委員長会 18:30、PTA代議員会 19:00
- 17日(土) PTA 環境整備作業8:00
- 19日(月) 南部いちご会(ふじ学級) やまのこ事前学習(4年) 保育園・こども園連絡会
- 20日(火) 内科健診(2,6年) 尿検査2次(予備日)
- 21日(水) 耳鼻科健診(1年)
- 22日(火) 1年生を迎える会(児童会主催)
- 26日(月) やまのこ学習(4年)
- 27日(火) 校外学習(3年) 高島市内巡り 内科健診(1,4年)
- 29日(木) 歯科健診(全学年)
- 30日(金) 浄化センター見学(4年) 【4年保護者参加可能】

子どもたちは、13:30から14:00まで運動場の草引きをします。ご家族の方も都合がつけば、ぜひご参加ください。

令和 7 年度「青柳小学校 取組プラン」について

本年度も「自ら学び、心豊かでたくましい子どもの育成」を目指し、具体的な取組プランを設定しました。

保護者や地域の皆様にはご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

本年度の重点目標	具体的方策
【学力の向上】 ○「我が校の学ぶ力向上策」の点検、見直しにより、基礎・基本の定着、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 ○保護者と連携し家庭学習や読書の習慣化を図る。 ○算数科、理科、社会科の専科指導を充実させる。 ○ICT 機器の有効活用を図る。	○「我が校の学ぶ力向上策」にPDCAサイクルで評価、改善を加え、実効性のあるものにする。 ○保護者との連携のもと、学力向上の土台となる自己肯定感を育む活動（『長所の花を咲かせよう』活動）や『読書カレンダー』に取り組む。 ○授業において、導入の工夫、めあて、振り返りの確認を意識する等、わかる授業の実践に努める。
【言語活動の充実】 ○国語科における言語活動を基盤として、他教科においても言語活動の充実を図り、「読み解く力」の育成を図る。 ○読書活動を充実させ、読書の楽しさを実感させる。PTA 活動でも家庭読書に取り組む。	○毎学期「書くこと」の単元で、題材の設定や書く表し方の工夫、推敲、共有の学習過程を踏まえた丁寧な指導に取り組む。 ○全校で「朝読書」に取り組む。図書館との連携による「ブックトーク」や「図書館訪問」、「学級文庫の充実」を図る。
【小中一貫教育の推進】 ○小中一貫教育標準カリキュラムを活用する。 ○「目指す 15 歳の像」を意識し、小中学校の教職員が生徒指導や授業研究に共同的に取り組む。	○上学年で専科指導を実施し、中学校でのつながりを意識した授業づくりに取り組む。 ○小中学校教員による共同授業研究へ参加する。 ○小中学校教員による研修会に積極的に参加して、意見交流を行い、よりよい児童への関わりを学ぶ。
【道徳教育の充実】 ○子どもが生き生きと学び合い、伝え合う道徳授業を実践することで豊かな人間性を育む。	○よりよく生きるために自己の生き方を考え、議論する授業展開を工夫する。
【集団づくり】 ○いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。 ○けじめのある生活を送ることのできる集団を育成する。 ○周りの子どもたちや大人に対して思いやりをもって接することのできる集団を育成する。 ○異学年交流を通して望ましい人間関係の育成とリーダーを育てる。（たてわり活動、集団登下校）	○生徒指導や教育相談に関する情報交換や、校内ケース会議を定期的開催し、専門家や関係機関との連携のもと、適切かつ早期に対応する。 ○「たてわり活動や全校的な行事では、自分から進んで活動している。」（児童評価 90%以上） ○「進んであいさつや返事をしている。」（児童評価 90%以上） ○異学年交流や児童会活動の活性化を図る
【“藤樹”学習を中心とした地域との連携】 ○中江藤樹の教えを学ぶ機会や、地域の「人・もの・こと」から体験的に学ぶ機会を積極的に設ける。 ○「藤樹デー」は、全校児童が楽しみ学べるように、高学年が中心になって企画する場面を設ける。 ○OACやPTA、地域学校協働本部との連携を密にし、地域学校協働活動の充実を図る。	○「学校では藤樹先生に関する学習をしている」（児童評価 90%以上） ○「藤樹デー」「大洲小学校との交流会」等の本校ならではの取組の継続と充実を図る。 ○OACや地域学校協働本部と連携し、「学校地域連携カリキュラム」を活用し、地域連携を図る。
【教職員の資質向上】 ○子どもの力を伸ばす教職員の実践力の向上を図る。 ○関係機関との連携の充実。	○全教職員が「全児童の担任」という意識で、児童に関わる。（学習・運動・遊び等） ○積極的に研修会へ参加する。